

# 日本公共政策学会 会報 No.75 2023年12月

PPSAJ Newsletter Public Policy Studies Association, Japan

1. 2024年度研究大会報告募集
2. 「公共政策フォーラム 2023 in 信州上田」開催報告
3. 「公共政策フォーラム 2024 in 会津若松」開催案内
4. 2024年度学会賞募集
5. 理事会記録（第140回）
6. 新入会員紹介
7. 理事会開催のお知らせ
8. 事務局からのお知らせ

## 1. 2024年度研究大会の報告募集

2024年度研究大会企画委員長 嶋田暁文

2024年度研究大会は、2024年6月1日（土）～2日（日）に、龍谷大学・深草キャンパスにおいて、対面方式で開催をいたします。

以下の要領の通り、研究大会での報告を募集しますので、ふるってご応募下さい。

**（1）若手研究者による研究報告セッション、（2）自由公募セッションとも、2024年2月16日（金）までに企画委員長宛（下記メールアドレス）にご応募下さい。**

a\_shimada@law.kyushu-u.ac.jp

### 応募・提出の締切

1. 【応募】報告テーマと概要：2024年2月16日（金）
2. 【提出】レジュメ：2024年4月5日（金）
3. 【提出】フルペーパー：2024年5月17日（金）

### （1）若手研究者による研究報告セッションの募集

▼募集内容：公共政策に関する未発表の研究成果とし、20分以内の報告、報告後10分程度の討論を予定しています。報告テーマは自由ですが、原則として個人の研究発表とします。セッション全体で最大12人程度の枠を予定し、後述の手続きにより報告者を決定し、司会者と討論者を配置します。

▼報告予定日：2024年6月1日（土）。詳細については、報告者に直接連絡します。

▼応募資格：日本公共政策学会の会員であり、大学院博士後期課程在籍者または修士学位の取得後10年未満の者（これに相当する者を含みますが、年齢による制限はありません）。応募資格は、2023年度までの年会費を完納している会員に限ります（年会費の未納年度がある会員は応募資格がありません）。なお、応募時点で非会員であっても、同時に入会申し込みを行うことにより、応募することができます。また、通知その他の連絡は、電子メールで行います。

▼報告者決定手続き：①氏名・最終学歴および学位・電子メールアドレス・所属・報告のテーマと概要（1,200～2,000字程度）を明記し、2024年2月16日（金）までに、電子メールの添付ファイル（Microsoft Word 使用）で提出して下さい。また、討論を希望する会員（応募者とは異なる所属の研究者で、共同研究等の経験のない者を原則とします）がいる場合、応募の際、その会員名をお書きください（上限2名まで）。ただし、ご希望に添いかねる場合がありますのでご了承下さい。

②報告のテーマ・概要をもとに、企画委員会において報告の採否を決定します。応募状況によっては、ご希望に添いかねる場合がありますのでご了承下さい。

③報告を許可された会員は、2024年4月5日（金）までにレジュメ（研究大会ホームページで公開される報告要旨集用、A4用紙1枚以内）を、また、2024年5月17日（金）までにフルペーパー（研究大会ホームページで公開される報告論文集用、16,000字以内厳守）を、それぞれ電子メールの添付ファイル（Microsoft Word 使用）で提出して下さい。この期限に遅れた場合は、理由の如何を問わず、報告許可が取り消されますので、ご注意下さい。

## （2）自由公募セッションの募集

自由公募セッションでは、（A）個人による研究報告の申し込み、（B）複数名による1つのセッションの企画の申し込み（報告者、司会者、討論者を含む）のそれぞれについて、以下の要領により募集します。

### （A）個人による研究報告の申し込み

▼募集内容：公共政策に関する未発表の研究成果や実践とし、30分以内の報告、報告後10分程度の討論とします。登壇の内諾を得た討論者（会員に限る）についても、合わせてご提案ください。

▼報告予定日：2024年6月1日（土）または6月2日（日）。詳細については、報告者に直接連絡します。報告予定日についてのご希望には添いかねますことをご理解ください。

▼応募資格：日本公共政策学会の会員であること。応募資格は、2023年度までの年会費を完納している会員に限ります（年会費の未納年度がある会員は応募資格がありません）。なお、応募時点で非会員であっても、同時に入会申し込みを行うことにより、応募することができます。また、通知その他の連絡は、電子メールで行います。

▼報告者決定手続き：①氏名・電子メールアドレス・所属・報告のテーマと概要（1,200～2,000字程度）を明記し、2024年2月16日（金）までに、電子メールの添付ファイル（Microsoft Word 使用）で提出して下さい。また、申込者の方で内諾を得た討論者名についても添付ファイルにお書き添えください。

②報告のテーマ・概要をもとに、企画委員会において報告の採否を決定します。応募状況によっては、ご希望に添いかねる場合がありますのでご了承下さい。

③報告を許可された会員は、2024年4月5日（金）までにレジュメ（研究大会ホームページで公開される報告要旨集用、A4用紙1枚以内）を、また2024年5月17日（金）までにフルペーパー（研究大会ホームページで公開される報告論文集用、20,000字以内厳守）を、電子メールの添付ファイル（Microsoft Word 使用）で提出して下さい。この期限に遅れた場合は、理由の如何を問わず、報告許可が取り消され

ますので、注意して下さい。

### (B) 複数名による1つのセッションの企画の申し込み

▼募集内容：セッション（120分）の企画は、公共政策に関する未発表の研究成果や実践を含むものとします（テーマは自由）。3～4名程度の報告者、司会者、討論者をすべて揃えた企画として申し込んで下さい。

▼報告予定日：2024年6月1日（土）または6月2日（日）。詳細については、セッションの申し込みを行った代表者に直接連絡します。報告予定日についてのご希望には添いかねますことをご理解ください。

▼応募資格：セッションの参加者全員が日本公共政策学会の会員であること。応募資格は、2023年度までの年会費を完納している会員に限ります（年会費の未納年度がある会員は応募資格がありません）。なお、応募時点で非会員であっても、同時に入会申し込みを行うことにより、応募することができます。また、通知その他の連絡は、電子メールで行います。

▼報告者決定手続き：①セッションのタイトル、司会者、討論者の氏名、セッションの概要（1,200～2,000字程度）、さらに3～4名の報告者それぞれについて、氏名・電子メールアドレス・所属・報告のテーマと各報告者の報告概要（1,200～2,000字程度）を記し、2024年2月16日（金）までに、電子メールの添付ファイル（Microsoft Word 使用）で提出して下さい。これらはセッションの申し込みを行った代表者がまとめて提出して下さい。

② 報告のテーマ・概要をもとに、企画委員会において企画の採否を決定します。応募状況によっては、ご希望に添いかねる場合がありますのでご了承下さい。

③ 報告を許可された会員は、2024年4月5日（金）までにレジュメ（研究大会ホームページで公開される報告要旨集用、A4用紙1枚以内）を、また2024年5月17日（金）までにフルペーパー（研究大会ホームページで公開される報告論文集用、20,000字以内厳守）を、電子メールの添付ファイル（Microsoft Word 使用）で提出して下さい。この期限に遅れた場合は、理由の如何を問わず、報告許可が取り消されますので、注意して下さい。

## 2. 公共政策フォーラム 2023 in 信州上田の開催結果

公共政策フォーラム委員会  
委員長 田村 秀

2023年11月18・19日の両日にわたり開催した標記フォーラムは、13大学16チームから159人の参加を経て、長野県上田市のセントミューゼ（上田市交流文化芸術センター）を会場に行われました。上田市からは実行委員長をお引き受けいただいた土屋陽一市長をはじめ、佐藤論征議長、峯村秀則教育長、大矢義博政策企画部長ほか関係課長、事務局として準備・運営にあたっていただいた政策企画課北沢課長以下課員の皆様など、多くの方々にご協力いただきました。

1日目の予選会を2会場で実施し、各会場上位3チーム計6チームが2日目の決勝戦に進出しました。決勝戦の様子はYouTube（上田市行政チャンネル）にてライブ配信を行いました。

開催概要及びライブ配信のアーカイブについては、上田市ホームページでもご覧いただけます。

[【https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/88367.html】](https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/88367.html)



参加ゼミとテーマ、審査結果は次のとおりです。

大学名	チーム名	テーマ	審査結果
愛知学院 大学	小林明夫 ゼミナール	みなさんとプロジェクト ～体験型ツーリズムで紡ぐ蚕都復興への道～	
愛媛大学	福井 ゼミナール	eスポーツでいい街づくり ～誰一人取り残さない健幸都市を目指して～	
関西大学	永田 ゼミナール	上田市の今と未来をつなぐ、防災まちづくり	日本公共政策学会 長賞（最優秀賞）
慶應義塾 大学	篠原研究会	キャリア共創都市 -移動と声の実証分析-	
國學院 大學	根岸 ゼミナール	「別所を巡る！味わう！切符」	(欠場)
静岡文化 芸術大学	片山泰輔研究室	ヘンテコさんのまち ー文化芸術で広がる多様性のある社会ー	
摂南大学	増田 ゼミナール	上田市の発展と伝統の継承	
専修大学	石川 ゼミナール	輝け！うえだっこ ～子育てのまち上田の実現～	上田市長賞
東海大学	岡本 ゼミナール	I J U～良住～ 新たな風を吹かす	
同志社 大学	真山 ゼミナール	上田市の少子化問題を解決するための結婚・子育て 支援	
長野大学	市川文彦 ゼミナール	上田でまわる！上田がつくる！上田をひらく！ 地域資源循環型の、市民スポットとくまごころナビ >で拓かれる街づくり	
長野大学	松下 ゼミナール	上田市武石地域における住民主体の地域活動をと した持続可能な地域づくりのあり方に関する考察	
長野大学	矢野亮 ゼミナール	長野県上田市における母子世帯に対する支援課題と 解決策	公共政策フォーラ ム 2023 in 信州上 田実行委員会賞

長野県立 大学	田村 ゼミナール	空き家をもたらす地域発展の可能性 ～地域共有のアイデアスペース～	日本公共政策学会 特別賞
日本大学	鷺見 ゼミナール	「人口減少時代の持続可能なまちづくり」	上田市教育長賞
日本大学	中川 ゼミナール	Gerasus を中心とした SPC による空き家を活用した 街づくり。	上田市議会議長賞
法政大学	廣瀬・土山 ゼミナール	湯にすぼ ユニバーサルスポーツ×温泉による”健幸”都市、 信州上田の実現	

(配列は大学名の 50 音順)

### 3. 公共政策フォーラム 2024 in 会津若松 開催案内

2024 年度公共政策フォーラム委員長 田川 寛之

来年度の公共政策フォーラムは 2024 年 11 月に福島県会津若松市で開催されます。前報に引き続き日程及び会場は現在調整中ですので、詳細が決まり次第、学会ウェブサイトおよび次報にてご連絡いたします。

日程：2024 年 11 月 9 日（土）・10 日（日）もしくは 11 月 16 日（土）・17 日（日）

会場：会津若松市内施設（会津大学または會津稽古堂・会津若松市生涯学習総合センターのいずれかにて調整中）

参考情報：

福島県・会津地方振興局ホームページ

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01240a/>

令和 5 年度 会津若松の市勢（会津若松市議会事務局）

<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2023090100021/>

会津若松市第 7 次総合計画（～2026 年度まで）

<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016110400058/>

アクセス：

（鉄道） 東北新幹線にて郡山到着ののち磐越西線へ乗り換え、会津若松にて下車。

（高速バス） 東北新幹線にて郡山到着ののち高速バスへ乗り換え、会津若松にて下車。

（自動車） 東北自動車道郡山ジャンクションにて磐越自動車道（新潟方面）へ向かい

会津若松インターから一般道へ出て 10 分程度。

※いずれの手段も、郡山～会津若松間の所要時間は 1 時間 30 分ほどです。

## 4. 2024 年度学会賞募集

学会賞選考委員会 委員長 河村和徳

2024 年度学会賞の推薦（自薦・他薦）を募集します。

- ① 日本公共政策学会 Web サイト内の (<http://www.ppsa.jp/tenbo.html>) から、「本年の研究活動」（自薦用）あるいは「学会賞推薦書（他薦用）」の Word ファイルをダウンロードします。
- ② 用紙にある説明に沿って、Word ファイル「本年の研究活動」「学会賞推薦書（他薦用）」に入力します。
- ③ 入力済みの Word ファイルを、電子メールの添付ファイルとして以下の宛先に送信してください。  
送信先：kawamura.kazunori.a7@tohoku.ac.jp（「本年の研究活動」「学会賞推薦書（他薦用）」とも共通）  
件名：「公共政策学会賞書類」（「本年の研究活動」「学会賞推薦書（他薦用）」とも共通）  
締切：2024 年 1 月 17 日（水）

- ④ 「本年の研究活動」に入力されたご自身の研究業績または推薦されました対象者の研究業績（著書や論文抜刷の現物、ハードコピー、PDF ファイルのいずれかひとつ（PDF ファイルを推奨））も送ってください。PDF ファイルの場合、その容量が 25 MB 以内に収まるのであれば上記のメールに添付いただいても結構です。あるいは以下の宛先に必ず書留にてご郵送ください。郵送される場合は、「本年の研究活動」と「学会賞推薦書」がメール送信済みであっても、印字して同封いただけると助かります。なお、送付された研究業績は返却いたしませんので、ご了承願います。PDF ファイルの容量が 25 MB を超える場合、zip ファイルに圧縮して頂く、分割して送付頂く、大容量ファイル転送サービスをご利用頂くなどの方法をおとり頂いても結構です。

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3-09

東北大学情報科学研究科 河村和徳研究室（日本公共政策学会学会賞）

締切：2024 年 1 月 17 日（水）（当日までの消印有効、原則簡易書留・レターパックでお願いします）

- ⑤ 応募資格は、2023 年度までの年会費を完納している会員の方に限ります（年会費の未納年度がある会員は応募資格がございませんのでご注意ください）。

### **学会賞選考要項**

#### **目 的**

- ① 「公共政策」分野の研究の学術的な進展を促進する。
- ② 学会活動の一層の発展のため、優れた研究者を発掘する。
- ③ 新進気鋭の研究者に入会のインセンティブを与える。
- ④ 公共政策関連の学術的な「情報共有」を広く会員間で図る。

## **賞の種別と対象**

- ①作品賞は、公共政策研究分野を代表する著書を対象とする。学界をリードしてきた研究者による集大的業績を想定し、会員の著書を中心とする。
- ②著作賞は、会員の優れた著書を対象とする。
- ③論説賞は、会員の優れた学術論文を対象とする。
- ④奨励賞は、研究歴が比較的浅く、将来を期待できる研究者の博士論文あるいは著作物を主たる対象とする。博士論文の場合、博士課程において授与された論文を原則とし、博士論文をもとにした刊行物も対象に加える。

## **刊行時期**

- ① 2023 年 1 月～12 月刊行の著書。
- ② 2023 年 1 月～12 月刊行の会員による著書。
- ③ 2023 年 1 月～12 月発表の会員による学術論文。
- ④ 2023 年 1 月～12 月に学位取得した会員による博士論文、同時期に刊行された会員による著作または学術論文。

## **表彰**

- ①賞状と楯を受賞者に授与する。
- ②学会総会の場で受賞者を発表し、授与式を行う。

## **選考基準**

- ①作品賞については、その年の政策研究を代表する業績であって、学会賞大賞としてふさわしい著書とする。
- ②著作賞、論説賞、奨励賞については、(1) 論説の独創性、(2) 研究テーマの発展性、(3) 内容の学術的水準、(4) 社会的インパクト、(5) 政策研究のテーマとしての妥当性という観点から評価して選考する。
- ③同一の賞については、過去の受賞歴を勘案する。
- ④全ての賞において、共著も検討対象とする。受賞者は、受賞時点で会員であることを必要とする。

## **選考手続き**

- ①会員からの自薦・他薦によって候補作を募り、選考委員が把握した情報を加えて、推薦作を特定する。
- ②5 つの小委員会（法律、経済・財政、国際関係、政治、行政・地方自治）を設け、各小委員会で第 1 次選考を行う。
- ③学会賞選考委員長（学会副会長）、学会会長・事務局長、各小委員長の合計 8 名で第 2 次選考を行い、最終決定とする。
- ④5 つの小委員会は、小委員長を含めて 3～5 名の小委員により構成し、小委員の選任は小委員長に委ねる。小委員は、原則として会員から選任する。

## **選考スケジュール**

- ①学会賞候補作の自薦・他薦の依頼を、2023 年 12 月に刊行される会報に掲載するとともに、学会ホー

ムページ上で情報の周知に努める。

②「本年の研究活動」・「学会賞推薦書（他薦用）」の用紙および研究業績の提出締切を、2024年1月17日（水）とする。選考委員長は、1月末頃に選考対象業績の情報・現物等の各小委員会への割振りを行い、2月上旬より各小委員会において第1次選考を開始し、4月上旬までに終了する。

③各小委員長からの第1次選考の審査報告を受けて、4月上旬から第2次選考を行って受賞作を決定し、原則として4月に予定されている理事会に報告する。

④4月理事会の終了後、受賞者に結果を通知する。

## **選考委員会**

2024年度学会賞選考委員会および小委員会の委員長は、以下の通りとする。

学会賞選考委員長（学会副会長）＝河村和徳（東北大学）

学会会長＝中川雅之（日本大学）

学会事務局長＝菊地端夫（明治大学）

法律小委員会委員長＝小泉祐一郎（静岡産業大学）

経済・財政小委員会委員長＝川勝健志（京都府立大学）

国際関係小委員会委員長＝玉井雅隆（東北公益文科大学）

政治小委員会委員長＝岡田陽介（拓殖大学）

行政・地方自治小委員会委員長＝宗前清貞（関西学院大学）

## **5. 理事会記録(第140回)**

**開催日時：**2023年9月23日（土） 10時30分～11時50分

**会場：**Zoom会議

**出席者：**秋吉貴雄、磯崎初仁、宇野二郎、大野智彦、加瀬武之、勝田美穂、河村和徳、菊地端夫、小田切康彦、小松崎 俊作、肥沼位昌、小西敦、佐藤丙午、嶋田暁文、焦従勉、鈴木潔、田口一博、谷口将紀、辻陽、手塚洋輔、朽尾真一、中川雅之、永田尚三、南島和久、西岡晋、西山慶司、野崎祐子、村上裕一、的場信敬、三田妃路佳、宮脇昇、祐野恵、野田遊、砂金祐年

**委任欠席者：**清水唯一朗

**欠席者：**関智弘

## **報告事項**

### **1. 2024年度学会賞選考スケジュールについて**

・学会賞選考委員長の河村和徳副会長より、委員会のメンバー（下記）とスケジュール（例年通り）について報告があった。また、選考委員の委員となった場合に自身の業績が選考の対象となるのか、過去に論説賞をとった業績が掲載された書籍がその他の賞の対象となりうるのかについて、議論と検討を行っていることが報告された。

・委員会のメンバー

学会賞選考委員長（学会副会長）＝河村和徳（東北大学）

学会会長＝中川雅之（日本大学）

学会事務局長＝菊地端夫（明治大学）

法律小委員会委員長＝小泉祐一郎（静岡産業大学）

経済・財政小委員会委員長＝川勝健志（京都府立大学）

国際関係小委員会委員長＝玉井雅隆（東北公益文科大学）

政治小委員会委員長＝岡田陽介（拓殖大学）

行政・地方自治小委員会委員長＝宗前清貞（関西学院大学）

## 2. 2024 年度研究大会開催日等について

・2024 年度研究大会実行委員長の南島和久理事より、下記の準備状況、スケジュールであるとの報告が行われた。あわせて、今回の理事会から参加することになった的場信敬理事の紹介も行われた。

・Zoom によるハイブリット開催（若手報告審査や国際交流セッションなど一部のみ）については、Zoom アカウントやルーター、モニターなどの用意は学会賞選考委員会が中心となってい、実行委員会側にはモニターの一部について可能であれば貸与を検討いただきたいとの議論があった。

・開催場所 龍谷大学深草キャンパス

・開催日時 2024 年 6 月 1 日（土）、6 月 2 日（日）の 2 日間

・対面での実施を予定。eduroam 利用可能。ただし、電波が弱い可能性有り。

懇親会の実施について検討が行われ、実行委員会の負担の軽重で判断いただくが、周辺に飲食店が多いことから実施する場合であっても軽食で実施する方向性でさらに検討を進めることになった。

エクスカージョンについては今年度の研究大会が特別であり通常通り実施しないことが確認された。また、同日に他学会が同じキャンパスで開催される情報があり、宿泊については早期に確保したほうが良いとの指摘があった。

## 3. 2024 年度研究大会企画について

・2024 年度研究大会企画委員長の嶋田暁文理事から、大会の構成テーマ案等について報告がなされた。その後、若手最優秀賞報告の表彰式の共通論題 II の前の実施、開会の辞と閉会の辞の実施の有無について議論があった。

・大会構成

共通論題：2

企画委員会セッション：5

国際交流委員会セッション：1

若手セッション：3～4（応募数による）

自由公募セッション：(個人+企画提案)：合計 6

懇親会

初日は総会を二回実施、学会賞授与式を懇親会前に実施。

#### ・企画内容

共通論題について、京都という歴史ある街での実施もあり「公共政策と時間」という共通テーマ(予定)を念頭に、理論的な観点からのものと、歴史的な観点からのものを予定。詳細の内容の検討や登壇者の人選については、前者に関しては実行委員長の嶋田理事が行い、後者に関しては実行委員の清水理事が実施予定。企画委員会セッションについては、各企画委員が企画内容について検討中。

#### 4. 『公共政策研究』(第 23 号) について

・2023 年度年報委員長の南島和久理事より、『公共政策研究』(第 23 号) は 9 月下旬に全原稿が校正予定で特集論文、投稿論文、書評論文ともに順調に進行しており、予定通り 2023 年 12 月下旬に刊行、発送予定であることが報告された。

#### 5. 『公共政策研究』(第 24 号) について

・2024 年度年報委員長の手塚洋輔理事から、年報委員の選出が行われ、年報の構成やスケジュールについて例年通りの形で検討が進められていることが報告された。

#### 6. 2023 年度公共政策フォーラムについて

・2023 年度公共政策フォーラム委員長の田村秀会員に代わり、菊地端夫事務局長より、「公共政策フォーラム 2023 in 信州上田」開催要領が決定し、11 月 18 日、19 日は 17 チームが参加すること、開催両日ともに一般公開され、19 日の決勝戦はインターネットによる Live 配信が実施予定であることが報告された。そのほか、2024 年度公共政策フォーラム実施予定の会津若松市からも参加の予定があることが報告された。

#### 7. 2024 年度公共政策フォーラムについて

・2024 年度公共政策フォーラム委員長の田川寛之会員に代わり、菊地端夫事務局長より、公共政策フォーラム 2024 in 会津若松は 2024 年 11 月 9 日(土)・10 日(日)もしくは 11 月 16 日(土)・17 日(日)のスケジュールで開催が検討されており、会場についても会津若松市中心市街地の施設にて現在調整中であることが報告された。

#### 8. 2023 年度研究大会決算報告

・2023 年度研究大会実行委員長の藤本吉則会員に代わり、菊地端夫事務局長より 2023 年度研究大会の決算報告が行われた。学会から実行委員会に開催校経費として 90 万円が年度当初に振り込まれたこと、支出はコラッセふくしまの施設利用料が 50 万円を超えたこと、アルバイト代の支出に関する勤務実績を含め、当該の支出の処理が適切に行われたことを確認したことが報告された。

・支出合計については 933,091 円となり 33,091 円の支出超過となるが、参加会員に宿泊証明の提出で協力いただいた福島県・福島市からのコンベンション補助金が合計 40 万円交付されることが内定している。ただし実際の振り込みがもう少し先になるため、一度実行委員長が負担している超過分の 33,091 円

を学会から振り込みを行う予定であること、最終的な実支出額は 533,091 円となり、当初予算を下回る予定であることが報告された。

## 9. ICPP 6 での IPPA と日本公共政策学会 MOU の締結について

・菊地端夫事務局理事より、前回理事会と総会で審議報告された IPPA（国際公共政策学会）との MOU 締結に関して、6 月 29 日にカナダ・トロントで開催された ICPP 6 において IPPA 事務局長の Philippe Zittoun 氏との間で協定書の署名と交換が行われたこと、当日は若手派遣助成の会員も立ち会ったことが報告された。

・この MOU の締結によって 2027 年まで今後 2 年に一回開催される ICPP に参加する本学会会員 1 名の参加料が免除となる一方、IPPA 側から本学会の研究大会への参加がある場合に参加料を免除とすること、IPPA の HP で本学会の紹介が行われたこともあわせて報告された。

## 10. 大学コンソーシアム京都（2023 年 12 月 17 日）の表彰について

・菊地端夫事務局理事より、第 19 回京都から発信する政策研究交流大会受賞者発表の際に、例年通り後援名義、学会賞の設定、副賞（例年通り図書カード 3000 円分）の提供、表彰式の出席の依頼があり、中川雅之会長が出席（旅費先方負担）する予定との報告があった。

## 11. その他

・菊地端夫事務局理事より、会報 74 号が各委員長の協力によって無事発行ができたことへのお礼が述べられ、次号の 75 号は年報とともに送付を行う予定のため 12 月上旬を目途に原稿を集める必要があり、ご協力をいただく予定である旨が報告された。

## 審議事項

### 12. 2024 年度年報委員の選出

・2024 年度年報委員長の手塚洋輔理事から、年報委員会の構成について以下の提案がなされ、承認された。

委員長 手塚洋輔（大阪公立大学）

委員 小松志朗（山梨大学）

三浦哲司（名古屋市立大学）

横田明美（明治大学）

### 13. 国際学会（IWPP3）・パネル・若手報告者派遣助成について

・2023 年度国際交流委員長の三田妃路佳理事より、2024 年 6 月にメキシコ・グアダハラで開催予定の IWPP4 で研究報告を行う若手研究者の会員に対して、15 万円を限度に助成を行う若手報告者派遣助成の応募を開始する案が提案され、パネル派遣については、IPPA 側の応募締め切り期限との関係で周知応募期間がタイトになってしまうことから今年度は実施しないことについても報告された。

#### 14. 2024年度研究大会実行委委員の選出

・2024年度研究大会実行委員長の南島和久理事より、実行委員長については南島理事が務め、実行委員については今後検討したいとの提案がなされ、委員の人選を一任することを含め、了承された。

#### 15. 2024年度研究大会企画委員について

・2024年度研究大会企画委員長の嶋田暁文理事より、企画委員会の構成について以下の提案がなされ、承認された。あわせて、河村和徳副会長（東北大学）にも随時アドバイスをいただく予定であるとの報告があった。

委員長 嶋田暁文（九州大学）

委員 小林悠太（東海大学）

清水唯一朗（慶應義塾大学）

関智弘（熊本県立大学）

田中良弘（立命館大学）

永松伸吾（関西大学）

福本江利子（東京大学）

#### 16. HP改修・改善担当（仮称）について

・中川雅之会長から、学会HPに前回総会で改修・改善に着手することを報告したため、執行部内の担当として河村和徳副会長（東北大学）を充てたいこと、各理事に随時ご協力いただきたいことが提案され、了承された。

#### 17. 会員移動について

- ・菊地端夫事務局長より、13名の入会申請、3名の退会申請があったとの報告がなされ、了承された。
- ・理事会後の会員数は、個人会員が919名、団体会員が5団体となった。

#### 18. 『公共政策研究』掲載論文の転載許可願について（会員1）

・菊地端夫事務局理事より、会員より『公共政策研究』掲載論文の転載許可願が出されたことが説明・提案され、了承された。

#### 19. 『公共政策研究』掲載論文の転載許可願について（会員2）

・菊地端夫事務局理事より、会員より『公共政策研究』掲載論文の転載許可願が出されたことが説明・提案され、了承された。年報掲載論文の転載許可について、特定の期限内（例：年報刊行1年内）の可否についての質疑があった。

#### 20. その他

・菊地端夫事務局理事より、現行の新入会員の手続きが申請者本人、また推薦者となる会員2名の押印を必要としていることに関し、会則と照らし合わせて押印の廃止を検討されていることが報告された。廃止のタイミングの議論の後、会員管理を委託している国際文献社の業務フローなども整理のうえ、進めていくことについてあらためて提案がなされ、了承された。

## 6. 新入会員紹介

### 第 140 回理事会で承認された新入会員

13 名の方が新規に入会されました。

## 7. 理事会開催のお知らせ

第 141 回理事会

- ・開催日時: 2024 年 1 月 20 日(土)10:30～
- 会場: ZOOM を用いて Web 開催

第 142 回理事会

2024 年 4 月下旬で調整中

## 8. 事務局からのお知らせ

### 2023 年度年会費納入のお願い

個人会員は 8,000 円/年(大学院生の会員は 5,000 円/年。ただし、大学院生の会員は、年度当初に在学証明書の提出が必要)、団体会員は 50,000 円/年です。2022 年度以前の年会費未納の会員の方は、未納分も含めて納入をお願いいたします。年会費未納の会員の方は、会員名簿、会報、学会誌の受領、大会・フォーラムへの参加、連携団体の会合出席等の会員サービスを受けられないことがありますので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

### 口座番号は次のとおりです。

郵便局

郵便振替口座: 00850-0-216663  
加入者名: 日本公共政策学会

他金融機関からのお振込の場合

ゆうちょ銀行  
店番: 089(店名:ゼロハチキュウ)  
当座預金: 0216663  
加入者名: 日本公共政策学会



## **日本公共政策学会 会報 第75号**

2023年12月10日発行

編集・発行

日本公共政策学会事務局

〒101-8301

東京都千代田区神田駿河台1-1

明治大学 経営学部 公共経営学科

菊地 端夫 研究室

学会メールアドレス: [jimukyoku@ppsa.jp](mailto:jimukyoku@ppsa.jp)

学会ウェブサイト: <http://www.ppsa.jp/>

郵便振替口座: 00850-0-216663 日本公共政策学会

**PPSAJ Newsletter No.75, December 2023**

*Copyright 2023 Public Policy Studies Association, Japan*